

EDU-Portニッポン2.0に向けて

令和3年3月9日(火)

文部科学省大臣官房国際課長
氷見谷 直紀



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

日本型教育の海外展開推進事業（EDU-Port ニッポン）

令和2年度予算額	72百万円
前年度予算額	71百万円



【概要】諸外国から高い関心が示されている日本型教育について、各省連携・官民連携のもと海外展開を促進

【効果】○日本の教育の国際化 ○親日層の拡大、SDGsへの貢献 ○日本の経済成長への還元

【関連する政策文書】・インフラシステム輸出戦略（令和元年度改訂版）で人材育成を含むソフトインフラも重点分野として位置づけ

・「日本型教育の海外展開」が第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）の1つの柱に盛り込まれる

官民協働プラットフォームの運営【65百万円（41百万円）】

文部科学省、外務省、経済産業省、JICA、JETRO等の連携の下、「日本型教育の海外展開官民協働プラットフォーム（EDU-Portニッポン）」を運営し海外展開のための基盤を構築

- ◆ 官民の代表からなる有識者会議
- ◆ シンポジウム開催、セミナーの開催、国際フォーラムへの出展
- ◆ 事業者に対する個別相談
- ◆ 広報・プロモーション素材の作成（動画、パンフ等）
- ◆ 様々な外交の機会を捉えて、相手国政府への働きかけ
- ◆ パイロット事業の成果等に関する調査分析



海外展開パイロット事業【7百万円（30百万円）】

日本型教育の海外展開のモデルとなりうる事業を、プラットフォームを通じて集中的に支援



- ◆ 渡航費、通訳費等の経費支援
- ◆ 推薦レターの発行
- ◆ 在外公館等による現地でのサポート等

<日本型教育の海外展開の具体的な事例>

- ・カンボジア：カンボジア国内2地点と日本をつなぐ、日本開発デジタル教材を活用した日本型「指導要領」の実践
- ・ペルー：レッススタディを活用した体育教員システムの構築を目指し、体育教師の能力開発に向けた支援
- ・カメルーン：教材研究に基づく授業研究の導入支援し、教育の質の向上を図る
- ・エジプト：特別活動の公立学校への導入を目指して、モデル校において掃除、日直等の取組を実施（JICAスキームにて支援）

<これまでの成果>

- ・平成30年度から、パイロット事業の対象地域をアジアに加え、中東・中南米・アフリカにも拡大し、これまで、合計35か国において、47件を支援。
- ・日本側教員、職員、児童、生徒等の参加者数9,500人、相手国の教員、職員、児童、生徒等の参加者数が36,000人を超える。
- ・「日本の教育文化・制度」の国際プレゼンスの向上や、外国人児童生徒への教育ノウハウの蓄積など日本の教育の国際化に貢献し、着実な成果が上がっている。

令和2年度（7百万円）

<想定地域>

TICADVIIにおいて、理数科教育に係る教育支援を打ち出しており、**アフリカ地域**を中心に、南米、中東地域、アジア地域にて実施



EDU-Portシンポジウム

EDU-Portブース

文部科学省「日本型教育の海外展開推進事業(EDU-Portニッポン)」 採択パイロット事業一覧(2019-2020)

▲就学前教育／★初等中等教育／●高等教育／■職業教育

2020年7月1日現在

ブータン

●実技科目の充実と社会連携活動の支援による
体感型技術教育の普及(2019-2020)

ミャンマー

★ミャンマーの小学校教員に対し、現地で実施する研修にてリー
ダーシップ力を育成するための支援事業(2019-2020)

ヨルダン

▲ヨルダンにおける日本型特別活動を通じたシリア難民及
びヨルダン人児童のライフスキル向上事業(2020-)

ベトナム

▲ベトナムにおける日本式幼児教育・保育法を実践できる幼稚園教諭を育てる人材育成事業(2020-)
★日本型教育コンテンツ共有プラットフォーム「フォレストネット」のベトナムでの展開(2020-)
★対ベトナム社会主義共和国「初等義務教育・ミズノヘキサスロン運動プログラム導入普及促進事業」
(2020-)
■ベトナムの教育機関に対する専門家派遣形態による法学教育の実施(2020-)
■ベトナムにおける主体的・対話的な学び方を実現する日本型キャリア教育の実践導入とその定着・
組織化(2019-2020)

アフリカ地域

★「福井型教育の日本から世界への展開」アフリカ域内・日本
の教師教育コラボレーション事業(2020-)

エジプト

★エジプト国初等教育への日本型器楽教育導入事業(2020-)
★エジプトにおける教育イノベーション創出事業 ～日本式公
民館の運営および社会教育の学びを通じて～(2019-2020)

カンボジア

★カンボジア Home-Learning 教材開発プロ
ジェクト“現地大学との SDGs4 の実践と情報
教育の展開”(2020-)

フィリピン

▲フィリピンにおける英語での日本型幼児教育の
展開(2020-)

ウガンダ

★ウガンダ共和国における小学校教員向け体育指導資
料策定支援(2019-2020)

スリランカ

★スリランカの学校教育における緊急時対策及びデジタル教育の普及に関する
相互教育連携促進事業(2020-)

ルワンダ

★UNDOKAIワールドキャラバンプロジェクト「ルワンダ共和国の学
校カリキュラムに、運動会を定着」(2020-)

インドネシア

▲日本型保育園を活用した「教育+保育」で託児以上の付加価値を実現する保育所のグロー
バルモデル展開(2020-)
★インドネシアにおける中学教科「環境」の確立と環境教育普及支援並びに教員の再教育事
業(2020-)

マラウイ

★マラウイとのICTを活用した生徒・教師参加型の双方向グローカ
ルプログラム推進事業(2020-)

背景

- ・ 諸外国首脳から、知・徳・体のバランスのとれた力を育むことを目指す初等中等教育や、実践的かつ高度な技術者教育を行う高等専門学校制度など、「日本型教育」に対して、強い関心が寄せられている。
- ・ 日本型教育の海外展開は、「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月閣議決定)において、新たな柱として盛り込まれており、また、「インフラシステム海外展開戦略2025」(令和2年12月)においても、具体的施策として盛り込まれている。
- ・ 令和2年に発生した新型コロナウイルスによる状況の変化を踏まえ、公衆衛生教育等の充実に各国の関心が高まっている。

事業概要

外務省・経産省や国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構(JETRO)、地方公共団体、教育機関等との連携のもと構築してきた「日本型教育の海外展開官民協働プラットフォーム」を活用し、コロナ禍を踏まえた新たな日本型教育の戦略的な海外展開に関する調査研究を実施。

これまでの実績と成果

- ◆平成28年度以降、パイロット事業を合計36カ国・地域において、66件を実施
 - ◆日本側の教員、職員、児童・生徒等の参加人数15,000人
相手国の教員、職員、児童等の参加人数が69,000人を超える
- ⇒ **日本の教育の国際化に貢献し、着実な成果が上がっている**

- ① 「日本の教育文化・制度」の国際プレゼンスの向上
- ② 外国人児童生徒への教育ノウハウの蓄積
- ③ 日本側の授業づくりや教員研修の見直し
- ④ 諸外国の優れた取組の「逆輸入」
- ⑤ パイロット事業展開国からの留学生の受入
- ⑥ 教育に関する産学官での新たなパートナーシップの構築 等

◆さらに現在、学術研究機関(京都大学)と連携し、日本型教育の特徴・優位点等を分析する調査研究を実施中

更なる成果を上げるための具体的な取組

◆官民協働プラットフォームの運営

- ・ 官民の代表からなる有識者会議
- ・ シンポジウム、セミナー、国際フォーラムへの出展
- ・ 海外展開事業者への個別相談・マッチング
- ・ 広報、プロモーション活動
- ・ スクールビジットの受入・調整支援

・EDU-Port ニッポン応援プロジェクトの採択

(4月中旬公募開始予定)

◆公衆衛生教育等の海外展開に関する調査研究(同上)

- ・ コロナ禍を踏まえ、我が国の公衆衛生教育等に関する調査研究を実施。



期待される効果

新型コロナ収束後の、**更なる日本の教育の国際化**(新たな教育プログラムの開発、国際教育連携の加速等)、**親日層の拡大・SDGsへの貢献**(各国との関係強化、相互理解促進)、**日本の経済成長への還元等**。

ありがとうございました

EDU-Port Japan



検索!

